



庁舎問題に関する取り組み～vol.13～

記事に関する問合せ先

庁舎・交通体系対策室… ☎ 62 - 5677

新庁舎施設整備等に関する考え方

新庁舎建設、支所の設置やそのあり方、庁舎資産の利活用及び地域活性化への対応等（以下「新庁舎施設整備等」といいます。）については、現在、議会における新庁舎に関する調査特別委員会や嘉麻市新庁舎施設整備等審議会（以下「審議会」といいます。）において、さまざまな要望や意見・質問などをいただきながら審議を進めています。

現時点での新庁舎施設整備等の考え方と平成24年2月に取りまとめられました「庁舎問題検討報告書」の内容との違いについて整理します。

区 分		庁舎問題検討報告書 (平成24年2月)	平成27年12月 時点での考え方	備 考
新庁舎の規模	将来目標職員数	400人体制	350人体制	人件費の負担抑制に伴う職員数の更なる削減目標が設定されたことにより、必要床面積を見直し、よりコンパクトな床面積を設定した。
	庁舎内配置職員数	413人	367人	
	必要延床面積	11,000㎡	9,000㎡	
	構造及び階層	R C造 5階建	R C造 5階建	
支所等	配置形態	出張所	支 所	住民サービスが低下しないよう、現状の総合支所業務を可能な限り確保するため、出張所ではなく、各地域に支所を設置する。碓井庁舎については当分の間、教育委員会等を設置し活用予定。
	業務の内容	簡易な受付事務	現状の総合支所業務は確保	
	配置職員数	数名程度	各支所に10人程度	
地域活性化	庁舎資産の利活用	検討なし	民間活力の活用等を踏まえ活性化策の検討	既存の庁舎がある4つの地域が衰退することのないよう、地域活性化策の検討を進めていく。
	市民サービス向上	市バス運行強化	市バス運行強化及び郵便局での諸証明発行	

本庁機能集約に伴う住民サービスの低下を招くことのないよう、これまでの庁舎のあった各地域に現状の総合支所業務内容の確保が必要と考え、10人程度の職員を配置する支所を設置することとしています。また、庁舎のあった4つの地域が有機的に連携し、主要な4つの地域として発展するよう、既存庁舎資産の有効な利活用を図るとともに、4つの地域を結ぶ交通体系の整備も進めていきたいと考えています。

● 新庁舎施設整備等に関するスケジュール

項 目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
アンケート調査	→						
市民説明会		→					新庁舎供用開始
審議会		→					
基本計画		→					
新庁舎設計			→				
新庁舎建設施工				→			
支所関係整備等			→	→	→	→	
地域活性化策検討			→	→	→	→	

庁舎耐震診断の結果（速報値）が示されました

12月15日に開催された、第4回新庁舎に関する調査特別委員会において、各庁舎の耐震診断結果の速報値が示されました。

記事に関する問合せ先
総務課…☎62-5660

耐震診断とは…

既存の建築物で旧耐震基準（昭和56年以前）により設計された建物を、現行の構造基準（耐震基準）で耐震性の状態を確認するものです。診断内容については、各階の柱と壁の断面積とその階が支えている建物重量に対する耐力やコンクリートの圧縮強度・中性化、建物の劣化状態（ひび割れ・漏水・鉄筋錆・コンクリート爆裂）などの調査を行い、耐震性が確保されている建物かどうか診断していきます。

【各庁舎におけるIs値について】

耐震性の判断基準

耐震性の判定基準は「Is値」として示されます。国土交通省が示す安全の目安として、一般的な建物については、Is値0.6以上は、倒壊又は崩壊する危険性が低く、Is値0.3以上0.6未満は、倒壊又は崩壊する危険性があり、Is値0.3未満は、倒壊又は崩壊する危険性が高くなるとされています。

なお、今回実施した各庁舎の耐震診断は、防災活動の拠点施設としての機能を確保するため、国が示した指標である、一般的な建物の基準に対し、1.5を乗じた耐震判定基準であるIs値0.9をひとつの基準として、耐震判断を行っています。

各庁舎の耐震診断結果(速報値)

各庁舎の耐震診断結果（速報値）については、以下のとおりです。

- 稲築庁舎の診断結果…NG
- 山田庁舎の診断結果…NG
- 嘉穂庁舎の診断結果…NG
- 碓井庁舎の診断結果…NG

※ NGとは、耐震性能を満たしていない建物という意味。

この診断結果により直ちに庁舎を利用できなくなるわけでないが、大規模な地震が発生した際に災害対策拠点となるべき施設が倒壊するなどの状況に伴い、災害対策活動への支障が生じることのないよう、その対応について新庁舎建設及び支所の設置等に係る方向性の推移を確認しながら、診断結果に対する対応を図っていく必要があります。

